

編集後記

第48回の理事会で、50周年記念事業として『日本胸部外科学会50年の歩み』誌発刊の件が審議され、記念誌編纂委員会が組織された。

編纂の主眼を、『30年の歩み』以後の20年間における胸部外科学の進歩の足跡をたどることに置くこととし、先ず第1回より50回までの総会抄録集ならびに評議員会議事録を読み直すことになった。

学術総会に50年間で発表された演題のうち特に最近の20年間の疾患別動向に重点をおき、臓器別に主に現役理事の先生方に執筆をお願いした。多くは先の30年にも言及されているが、触れていない疾患項目については、30年誌から抜粋させていただくこととした。

総会の概要と歴代会長の横顔のページは、そのまま拡大写真パネルとして一堂に展示供覧できるよう配慮した。「会長のことば」欄については、元会長の先生方には直々に筆を入れていただき、物故された会長の総会については当該教室を預かる現役教授に加筆訂正をお願いした。一枚という限られたスペースのために、全容を掲載できずご迷惑をかけたのではと案じている。

記憶から消えつつある一般社会の出来事とともに、日本胸部外科学会50年の足跡を探訪し、次の半世紀への糧としていただければ幸いである。

平成九年十月一日

編纂委員会

委員長 川田 志明
副委員長 細田 泰之
委員 小林 紘一
安藤 暢敏
四津 良平
加藤木利行
菊池 功次
上田 敏彦
饗庭 了